

二月花形歌舞伎



【夜の部】 午後三時三〇分開演

真山青果作
真山美保演出

元禄忠臣蔵

御浜御殿

綱豊卿

伊藤美術
中嶋八郎

三元禄花見踊

長唄子連中

【昼の部】 午前十一時三〇分開演

正札附根元草摺

松浦の太鼓

長唄子連中

製作 松竹

夜の部

昼の部

三元禄花見踊

御浜御殿綱豊卿

正札附根元草摺

松浦の太鼓

猿弥 宗吉 米太郎 市川笑也 澤村宗之助 嵐 橘三郎 中村米吉 大谷廣太郎 中村忞太郎 中村歌昇 松本幸四郎

徳川綱豊卿 富森助右衛門 中蔵お喜世 小谷甚内 上臈浦尾 新井勘解由 御祐筆江島

徳川綱豊卿 富森助右衛門 中蔵お喜世 小谷甚内 上臈浦尾 新井勘解由 御祐筆江島

曾我五郎 舞鶴 松浦鎮信 近習鶴飼左司馬 大高源吾

曾我五郎 舞鶴 松浦鎮信 近習鶴飼左司馬 大高源吾

令和3年 2月11日[木・祝] 初日 ~ 24日[水] 千種楽

2月	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
昼の部 11:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
夜の部 15:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

■ご観劇料				
A席	特B席	B席	C席	
14,000円	11,000円	8,000円	5,000円	

※一幕見券の販売はございません。

令和3年1月23日(土)午前10時より
電話予約・インターネット発売開始

博多座電話予約センター ☎092-263-5555

電話番号はおかけ間違いのないようお願い申し上げます。

■インターネット販売

博多座

検索

1月24日(日)午前10時より博多座チケット売場でも販売いたします。
チケット売場販売用の別枠席はご準備いたしておりません。ご了承くださいませ。

地下鉄「中洲川端駅」⑦番出口直結
西鉄バス「川端町・博多座前」下車



〒812-8615 福岡市博多区下川端町2-1

協力: ANA、Jr九州、Nishitetsu、福岡市地下鉄

※博多座では小学生未満のお子様のご入場はお断りしております。
※発売初日は博多座チケット売場での販売はございません。
※出演者、演目、期間などの変更部分は悪しからずご了承願います。

二月花形歌舞伎

令和3年 2月11日[木・祝] 初日 ~ 24日[水] 千秋楽

昼の部 (午前十一時三〇分開演)

一、正札附根元草摺

曾我兄弟を描いた「曾我物」の舞踊のひとつ。「草摺」とは鎧の下に付いている防具で、五郎が持つ鎧の草摺を朝比奈が引いて止めようとするところから「草摺引」とも呼ばれている作品です。

父の仇である工藤祐経に直面するため、鎧を小脇に抱えて駆け出そうとする曾我五郎を、朝比奈が必死で押し止めようとする内容。今回は朝比奈を妹の舞鶴という女性に替えての上演となります。最初の見どころは、勇猛果敢な若武者の五郎と、女ながらも強力を持ち主である舞鶴との力比べ。舞鶴は何度も五郎を止めようとしますが、勇み立つ五郎はその手を払おうとします。そこで舞鶴が、しおらしく男女の色模様を語って引き止めようとし、艶やかな女性らしさを見せていきます。続いて五郎と舞鶴は軽快で華やかな連舞を繰り広げ、再び駆け出そうとする五郎と、制止しようとする舞鶴が草摺を引き合せて幕となります。古風で大らかな味わいの舞踊です。

二、松浦の太鼓

「忠臣蔵」外伝劇の名作。大石内蔵助が打つ陣太鼓を聞いた吉良家の隣屋敷の主人が赤穂浪士の討ち入りを察知する場面を、「松浦陣太鼓」と題して明治三十三年(一九〇〇)年に大阪朝日座で上演されたのが、この作品です。

序幕は、赤穂浪士の吉良邸討ち入りの前日。俳諧の宗匠・宝井其角と赤穂浪士の大高源吾が出会い、其角が詠んだ「年の瀬や」で始まる上の句に、源吾が「明日待たるその宝船」と下の句を付けて去って行きます。その句が後の展開を予期させるポイントとなっています。二幕目は翌日の夜。吉良邸の隣家・松浦鎮信の館が舞台です。大名の松浦侯は源吾の句と、鳴り響く山鹿流の陣太鼓の音を聞いて赤穂浪士の討ち入りを覚ります。この場面が最大の見せ場で、本懐を遂げた源吾に対し、忠義心を褒め称える様子も見どころ。人間味と愛嬌、鷹揚さが魅力的な松浦侯が生き生きと描かれる人気作です。

夜の部 (午後三時三〇分開演)

一、御浜御殿綱豊卿

真山青果作品である全十編の「元禄忠臣蔵」の中でも人気が高い新歌舞伎の傑作です。元禄十五年三月という、赤穂浪士の吉良邸討ち入り事件が起こる九カ月前が背景。甲府徳川家の別邸御浜御殿が舞台で、後に六代将軍・徳川家宣となる綱豊卿が主人公です。

第一幕では、大名のお浜遊びという江戸の風俗と、次期将軍と目されている綱豊がお世継ぎ問題から逃れるために、政治には無関心を装っている様子が描かれます。第二幕では、綱豊と赤穂浪士の一人・助右衛門との緊迫した台詞の応酬が最大の見どころ。仇討ちをする心があるかどうかを探ろうとする綱豊と、本心を悟られないように答える助右衛門との息詰まるやり取りが繰り広げられる名場面です。流麗な台詞が魅力となっていて、最後の場面で「真の義とは何か」について綱豊が朗々と語る長台詞も聴きどころ。聡明で清々しい綱豊と、武骨で血気盛んな助右衛門の心の交流を描く男のドラマです。

二、元禄花見踊

狂言作者・竹柴飄助の作詞、三世杵屋正次郎の作曲、初世花柳壽輔の振付により、明治十二(一八七八)年に東京新富座で初演されました。満開の桜が咲き誇る花の名所・上野の山が舞台です。この舞踊が生み出された明治初期の文明開化の世相や、当時の生き生きとした時代の香りをも感じさせるのが特徴。心が浮き立つような長唄曲に賑やかな鳴物が施され、華やかな花見の風情に溢れているのが大きな魅力になっています。

幕が開くと、桜が一面に広がる春爛漫の景色。詞章には北嵯峨や御室など京都の花の名所が織り込まれ、花見酒に酔う花見客の様子などが描写されています。最後には圧巻の総踊りで、上野の山の花見の光景を見せて幕となります。いつの時代も桜を愛でる日本人の美意識や感性が伝わる作品。耳に心地よい音楽に加え、色彩的にも美しい「動く元禄絵巻」と言える艶やかな舞踊です。

ご観劇券ご購入方法

■博多座電話予約センター ☎092-263-5555

電話番号はおかけ間違いのないようお願い申し上げます。

■博多座チケット売場 博多座2階広場の正面にございます。

■インターネット販売

15名様以上のグループ観劇受付中

■博多座セールスグループ ☎092-263-5880

■プレイガイドお取り扱い

チケットぴあ

Pコード(昼の部)504-463(夜の部)504-464
https://t.pia.jp/ 及びびあスポットでの販売

○-チケ

Lコード(昼の部)82947(夜の部)82948
https://l-tike.com/

●JTB●近畿日本ツーリスト●日本旅行●農協観光
●西鉄旅行●成急交通社●名鉄観光サービス
●東武トップツアーズ●読売旅行●タビックスジャパン 他

地下鉄「中洲川端駅」⑦番出口直結
西鉄バス「川端町・博多座前」下車

 **博多座**

〒812-8615 福岡市博多区下川端町2-1

協力: ANA ● JFR九州 ● Nishitetsu ● 福岡市地下鉄

※博多座では小学生未満のお子様のご入場はお断りしております。
※発売初日は博多座チケット売場での販売はございません。